



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年11月11日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3591 URL <https://www.wacoalholdings.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 矢島 昌明
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 廣岡 勝也 TEL 075-682-1010
半期報告書提出予定日 2024年11月14日
配当支払開始予定日 2024年12月6日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前中間利益		中間利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	90,167	△5.2	2,304	△39.6	11,551	—	12,815	—	8,715	—
2024年3月期中間期	95,130	△2.4	3,816	△12.2	△3,384	—	△2,739	—	△4,396	—

	親会社の所有者に 帰属する中間利益		中間包括利益 合計額		基本的1株当たり 中間利益	希薄化後1株当たり 中間利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	8,773	—	1,854	△77.4	159.69	159.05
2024年3月期中間期	△4,404	—	8,193	△28.4	△76.09	△76.09

(注) 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	288,858	210,133	206,965	71.6
2024年3月期	294,029	215,142	211,829	72.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2025年3月期	—	50.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	181,000	△3.3	△2,500	—	4,800	—	6,900	—	4,500	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (中間期)

2025年3月期中間期	55,500,000株	2024年3月期	61,000,000株
2025年3月期中間期	1,316,317株	2024年3月期	5,931,669株
2025年3月期中間期	54,938,466株	2024年3月期中間期	57,878,570株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当中間期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当中間期の財政状態の概況	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 要約中間連結財政状態計算書	P. 6
(2) 要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書	P. 8
(3) 要約中間連結持分変動計算書	P. 10
(4) 要約中間連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 要約中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(セグメント情報)	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

① 当中間期の業績

(単位：百万円)

	2024年3月期 中間連結 会計期間	2025年3月期 中間連結 会計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	95,130	90,167	△4,963	△5.2%
売上原価	41,446	39,111	△2,335	△5.6%
売上総利益	53,684	51,056	△2,628	△4.9%
販売費及び一般管理費	49,868	48,752	△1,116	△2.2%
事業利益	3,816	2,304	△1,512	△39.6%
その他の収益	748	10,268	+9,520	—
その他の費用	7,948	1,021	△6,927	△87.2%
営業利益（△損失）	△3,384	11,551	+14,935	—
金融収益	1,333	992	△341	△25.6%
金融費用	152	295	+143	+94.1%
持分法による投資損益	△536	567	+1,103	—
税引前中間利益（△損失）	△2,739	12,815	+15,554	—
親会社の所有者に帰属する中間利益（△損失）	△4,404	8,773	+13,177	—

当中間連結会計期間（2024年4月1日～2024年9月30日）における当社グループの商況は、主要国において主力商品であるレディスインナーウェア販売の低迷が続きました。国内は、ECチャネルは堅調を維持しましたが、実店舗においては、量販店チャネルにおける一部店舗の閉店影響や既存店の来店客数の伸び悩みなどを受け、厳しい状況が続きました。米国は、高金利政策による景気の失速懸念から、一部の取引先での仕入抑制が続き、低調な推移となりました。欧州は、インフレが沈静化し経済全体が回復基調にある中で、特に欧州大陸エリアでの販売が好調に推移しました。中国については、長引く景況感の悪化を受けた個人消費の伸び悩みにより、売上の回復は想定を下回りました。

このような環境において、当社グループは、2026年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画（リバイズ）の目標達成に向けて、「収益力の改善に向けたビジネスモデル改革」、「“VISION2030”達成に向けた成長戦略」、「ROICマネジメントの導入」、「アセットライト化の推進」に取り組みました。当中間連結会計期間においては、ビジネスモデル改革の一環として、国内の3つの生産拠点の譲渡および操業停止を決定した※1ほか、需要変動に応じて商品を柔軟に提供する新しいサプライチェーンの構築や、収益性の高い筋肉質な企業経営を実現するコスト構造改革を進めました。成長戦略においては、海外事業の着実な成長実現、サプライチェーンの集約による高収益構造への変革を果たすべく、9月にワコールヨーロッパを通じて、英国のBravissimo Group Limited（以下、Bravissimo Group）を買収いたしました。※2 Bravissimo Groupは、自社ブランドの「Bravissimo」を中心に、ワコールヨーロッパや他社ブランドのインナーウェアと水着などを扱う直営店を英国で25店舗展開するほか、自社のウェブサイトも運営しています。これまで卸売事業を中心に展開していたワコールヨーロッパは、Bravissimo Groupと連携することで、消費者との直接的な接点を持つ直営店が拡大し、ECサイトと実店舗でのオンライン・オフラインでのクロスセルを実現します。そのほか、企業価値の向上に寄与しない資産については売却することを基本とするアセットライト化の方針のもと、6月に浅草橋ビル、8月に旧福岡事業所跡地を売却しました。※3

以上の結果、当中間連結会計期間の連結売上収益は、901.7億円（前年同期比5.2%減）、事業利益は23.0億円（前年同期比39.6%減）となりました。事業利益は前年同期を下回りましたが、各社の販管費のコントロールが寄与し、当初の計画数値を上回る着地となりました。営業利益は、浅草橋ビル及び旧福岡事業所跡地等の固定資産売却益（91.4億円）の計上も寄与し、115.5億円（前年同期は33.8億円の営業損失）となりました。税引前中間利益は128.2億円（前年同期は27.4億円の税引前損失）、親会社の所有者に帰属する中間利益は87.7億円（前年同期は44.0億円の損失）となりました。

なお、当該期間の為替換算レートは、1米ドル＝152.63円（前年同期141.00円）、1英ポンド＝195.46円（同177.49円）、1中国元＝21.15円（同19.75円）です。

※1 2024年8月26日付「当社連結子会社（国内製造子会社）の生産拠点の集約・再編に関するお知らせ」

https://www.wacoalholdings.jp/ir/topics/files/wacoalholdingsnews20240826_1.pdf

※2 2024年9月26日付「在英の連結子会社を通じた英国 Bravissimo Group Limited の買収（子会社等の異動を伴う株式取得）に関するお知らせ」

https://www.wacoalholdings.jp/ir/topics/files/wacoalholdingsnews20240926_1.pdf

※3 2024年8月26日付「固定資産の譲渡に関するお知らせ」

https://www.wacoalholdings.jp/ir/topics/files/wacoalholdingsnews20240826_2.pdf

② 報告セグメントの営業概況

（単位：百万円）

	2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
	中間連結会計期間	構成比	中間連結会計期間	構成比	増減額	増減率
売上収益合計	95,130	100.0%	90,167	100.0%	△4,963	△5.2%
ワコール事業（国内）	47,275	49.7%	45,006	49.9%	△2,269	△4.8%
ワコール事業（海外）	35,028	36.8%	34,549	38.3%	△479	△1.4%
ピーチ・ジョン事業	5,502	5.8%	5,165	5.7%	△337	△6.1%
その他	7,325	7.7%	5,447	6.1%	△1,878	△25.6%

（単位：百万円）

	2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
	中間連結会計期間	売上比	中間連結会計期間	売上比	増減額	増減率
営業利益（△損失）	△3,384	—	11,551	12.8%	+14,935	—
ワコール事業（国内）	1,303	2.8%	8,497	18.9%	+7,194	+552.1%
ワコール事業（海外）	△5,023	—	2,783	8.1%	+7,806	—
ピーチ・ジョン事業	△37	—	△44	—	△7	—
その他	373	5.1%	315	5.8%	△58	△15.5%

a. ワコール事業（国内）

当中間連結会計期間は、実店舗については来店客数の減少などにより苦戦が続いたものの、EC事業の成長が全体を下支えしました。また、為替の円安進行や原材料高による原価高騰の影響を受け、厳しい外部環境が継続していますが、自社ECなどの利益率の高いチャネルの伸長などにより、売上利益率は前年同期並みの水準を確保しました。

商品別の状況は、第1四半期から好調が続く「シンクロブラトップ」のほか、「重力ケアブラ ノンワイヤ」や「ハグするブラ」などの商品が堅調に推移しています。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は450.1億円（前年同期比4.8%減）となり、計画を上回る着地となりました。なお、当期については中期経営計画（リバイズ）の方針に沿って、不採算店舗の撤退や店頭在庫の適正化を目的とした納品調整などを織り込み、減収を計画しています。営業利益は、旧福岡事業所跡地の固定資産売却益（76.8億円）の計上が寄与したことから、85.0億円（前年同期比552.1%増）と前年同期及び計画に対して大幅な増益となりました。

b. ワコール事業（海外）

ワコールインターナショナル（米国）は、Intimates Online, Inc.（以下、IO社）の事業撤退の影響により、現地通貨ベースの売上は前年同期を下回りました。「Wacoal」ブランドを展開する米国ワコールは、実店舗については得意先の仕入抑制の影響により納品が停滞、自社ECは広告配信の規制により集客に苦戦していますが、他社ECについては好調を維持しています。

ワコールヨーロッパは、ドイツ・フランスでの販売が伸長し、現地通貨ベースで前年同期を上回りました。特にドイツについては、マーケティング投資が奏功した結果、自社ECの訪問者数が増加しており、7月には単月最高売上を記録するなど、順調に推移しています。なお、9月26日に買収したBravissimo Groupについては、当中間連結会計期間の損益への影響は軽微であります。

中国ワコールは、実店舗・ECともに苦戦が続く中、百貨店の販促イベントへの参加や、ポイント施策などの既存顧客に向けたアプローチを行いました。厳しい事業環境が継続しています。

これらの結果、邦貨換算ベースでの当該セグメントの売上収益は345.5億円（前年同期比1.4%減）となりました。営業利益は、I0社の事業撤退に伴う利益改善やワコールヨーロッパの好調が寄与し、27.8億円（前年同期は50.2億円の営業損失）となりました。

c. ピーチ・ジョン事業

当中間連結会計期間については、他社ECは新規サイト出店による効果もあり、引き続き堅調に推移しましたが、自社ECは、購買率向上を目指しセールや販促活動を実施したものの、苦戦が続いております。また、直営店については、有名タレントを起用した販促プロモーションや30周年キャンペーンの実施により集客や購買率の改善を図りましたが、期待した効果を得ることができず、前年同期を下回りました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は51.7億円（前年同期比6.1%減）となりました。営業損益は、売上動向に応じて販管費のコントロールに努めたものの、減収影響や仕入単価の高騰等により、0.4億円の営業損失（前年同期は0.4億円の営業損失）となりました。

d. その他

ルシアンは自社ブランド商品や刺しゅうアイテムなどの販売が堅調に推移した結果、増収となりました。営業利益については、前期発生した為替差益の反動により減益となりました。Aiについては前年同期からわずかに減収となったものの、店舗数の絞り込みとECへのチャネルシフトにより利益率が改善し、営業利益は増益となりました。

なお、2024年5月15日に開示した「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ（※）」の通り、七彩は株式譲渡に伴い、第2四半期以降は当社の連結範囲から除外しています。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は54.5億円（前年同期比25.6%減）となりました。営業利益は第1四半期時点の七彩の業績低迷が響き、3.2億円（前年同期比15.5%減）となりました。

※2024年5月15日付「連結子会社の異動（株式譲渡）に関するお知らせ」

https://www.wacoalholdings.jp/ir/topics/files/wacoalholdingsnews20240515_6.pdf

（参考）主要子会社の売上収益・営業利益（△損失）

（単位：百万円）

売上収益	2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
	中間連結会計期間	構成比	中間連結会計期間	構成比	増減額	増減率
ワコール	44,569	46.9%	42,094	46.7%	△2,475	△5.6%
ワコールインターナショナル（米国）	15,111	15.9%	14,402	16.0%	△709	△4.7%
ワコールヨーロッパ	10,055	10.6%	11,490	12.7%	+1,435	+14.3%
中国ワコール	5,161	5.4%	4,525	5.0%	△636	△12.3%
ピーチ・ジョン	5,502	5.8%	5,165	5.7%	△337	△6.1%
ルシアン	1,326	1.4%	1,486	1.6%	+160	+12.1%

※外部売上収益のみを記載しています。

（単位：百万円）

営業利益（△損失）	2024年3月期		2025年3月期		前年同期比	
	中間連結会計期間	売上比	中間連結会計期間	売上比	増減額	増減率
ワコール	1,400	3.1%	9,761	23.2%	+8,361	+597.2%
ワコールインターナショナル（米国）	△6,716	—	1,233	8.6%	+7,949	—
ワコールヨーロッパ	800	8.0%	940	8.2%	+140	+17.5%
中国ワコール	△220	—	△248	—	△28	—
ピーチ・ジョン	△37	—	△44	—	△7	—
ルシアン	89	6.7%	53	3.6%	△36	△40.4%

（2）連結財政状態に関する説明

① 資産、負債、株主資本等の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、その他の金融資産が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比して51億71百万円減少し、2,888億58百万円となりました。

負債は、借入金が増加したものの、営業債務及びその他の債務や繰延税金負債が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比して1億62百万円減少し、787億25百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、自己株式を取得したことなどにより、前連結会計年度末に比して48億64百万円減少し、2,069億65百万円となりました。

以上の結果により、当中間連結会計期間末における親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末に比して0.4ポイント減少し、71.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して40億21百万円増加し、375億68百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、中間利益87億15百万円に減価償却費及び償却費や法人所得税費用などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、52億93百万円の収入（前年同期に比し12億1百万円の収入増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社の取得があったものの、有形固定資産等の売却などにより、38億67百万円の収入（前年同期に比し18億5百万円の収入減）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得などにより、41億96百万円の支出（前年同期に比し38億55百万円の支出減）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期の連結業績予想については、2024年5月15日に公表した連結業績予想を変更しています。詳細については、本日公表の「2025年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想と実績との差異、通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 要約中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約中間連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	33,547	37,568
営業債権及びその他の債権	22,141	19,127
その他の金融資産	1,996	2,290
棚卸資産	49,989	52,089
その他の流動資産	4,464	4,063
流動資産合計	112,137	115,137
非流動資産		
有形固定資産	45,478	43,481
使用权資産	11,471	12,683
のれん	11,805	16,502
無形資産	11,890	10,823
投資不動産	2,839	1,583
持分法で会計処理されている投資	20,347	20,074
その他の金融資産	54,451	44,919
退職給付に係る資産	18,795	18,895
繰延税金資産	3,995	3,970
その他の非流動資産	821	791
非流動資産合計	181,892	173,721
資産合計	294,029	288,858

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	7,200	10,390
リース負債	4,898	4,686
営業債務及びその他の債務	17,406	14,977
その他の金融負債	995	929
未払法人所得税	4,074	3,126
その他の流動負債	14,566	14,011
流動負債合計	49,139	48,119
非流動負債		
借入金	1,946	4,101
リース負債	6,598	8,065
退職給付に係る負債	2,947	2,086
繰延税金負債	16,934	15,125
その他の非流動負債	1,323	1,229
非流動負債合計	29,748	30,606
負債合計	78,887	78,725
資本		
資本金	13,260	13,260
資本剰余金	20,550	4,444
利益剰余金	148,494	155,818
その他の資本の構成要素	46,784	38,597
自己株式	△17,259	△5,154
親会社の所有者に帰属する持分合計	211,829	206,965
非支配持分	3,313	3,168
資本合計	215,142	210,133
負債及び資本合計	294,029	288,858

（2）要約中間連結損益計算書及び要約中間連結包括利益計算書

（要約中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

科目	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）		当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	
		%		%
売上収益	95,130	100.0	90,167	100.0
売上原価	△41,446	△43.6	△39,111	△43.4
販売費及び一般管理費	△49,868	△52.4	△48,752	△54.1
その他の収益	748	0.8	10,268	11.4
その他の費用	△7,948	△8.4	△1,021	△1.1
営業利益（△損失）	△3,384	△3.6	11,551	12.8
金融収益	1,333	1.4	992	1.1
金融費用	△152	△0.1	△295	△0.3
持分法による投資利益	753	0.8	567	0.6
持分法による投資の減損損失	△1,289	△1.4	—	—
税引前中間利益（△損失）	△2,739	△2.9	12,815	14.2
法人所得税費用	△1,657	△1.7	△4,100	△4.5
中間利益（△損失）	△4,396	△4.6	8,715	9.7
中間利益（△損失）の帰属				
親会社の所有者	△4,404	△4.6	8,773	9.7
非支配持分	8	0.0	△58	△0.0
中間利益（△損失）	△4,396	△4.6	8,715	9.7
1株当たり中間利益（△損失）				
基本的1株当たり中間利益（△損失）（円）	△76.09		159.69	
希薄化後1株当たり中間利益（△損失）（円）	△76.09		159.05	

(要約中間連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

科目	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間利益 (△損失)	△4,396	8,715
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	5,606	△4,724
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	△13	△144
純損益に振り替えられることのない項目合計	5,593	△4,868
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	6,378	△2,177
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	618	184
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	6,996	△1,993
その他の包括利益合計	12,589	△6,861
中間包括利益	8,193	1,854
中間包括利益の帰属		
親会社の所有者	7,982	1,890
非支配持分	211	△36
中間包括利益	8,193	1,854

（3）要約中間連結持分変動計算書

前中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

（単位：百万円）

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	自己株式	合計		
2023年4月1日残高	13,260	29,029	151,779	32,023	△15,894	210,197	3,285	213,482
中間利益（△損失）			△4,404			△4,404	8	△4,396
その他の包括利益				12,386		12,386	203	12,589
中間包括利益合計	—	—	△4,404	12,386	—	7,982	211	8,193
自己株式の取得					△3,483	△3,483		△3,483
自己株式の消却		△8,572			8,572	—		—
株式報酬取引		8			52	60		60
配当金			△2,321			△2,321	△99	△2,420
支配継続子会社に対する持分変動		98				98	△20	78
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			4,060	△4,060		—		—
所有者との取引額合計	—	△8,466	1,739	△4,060	5,141	△5,646	△119	△5,765
2023年9月30日残高	13,260	20,563	149,114	40,349	△10,753	212,533	3,377	215,910

当中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の資本の構成要素	自己株式	合計		
2024年4月1日残高	13,260	20,550	148,494	46,784	△17,259	211,829	3,313	215,142
中間利益（△損失）			8,773			8,773	△58	8,715
その他の包括利益				△6,883		△6,883	22	△6,861
中間包括利益合計	—	—	8,773	△6,883	—	1,890	△36	1,854
自己株式の取得					△4,061	△4,061		△4,061
自己株式の消却		△16,011			16,011	—		—
株式報酬取引		△95			155	60		60
配当金			△2,753			△2,753	△107	△2,860
子会社の支配喪失に伴う変動							△2	△2
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替			1,304	△1,304		—		—
所有者との取引額合計	—	△16,106	△1,449	△1,304	12,105	△6,754	△109	△6,863
2024年9月30日残高	13,260	4,444	155,818	38,597	△5,154	206,965	3,168	210,133

（4）要約中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科目	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
中間利益（△損失）	△4,396	8,715
減価償却費及び償却費	5,917	5,635
減損損失	6,392	365
金融収益	△1,333	△992
金融費用	152	295
持分法による投資損益（△は益）	△753	△567
持分法による投資の減損損失	1,289	—
法人所得税費用	1,657	4,100
固定資産売却損益（△は益）	79	△9,043
営業債権及びその他の債権の増減額（△は増加）	1,618	3,612
棚卸資産の増減額（△は増加）	△315	△126
その他の資産の増減額（△は増加）	△715	△199
営業債務及びその他の債務の増減額（△は減少）	△3,192	△1,935
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△1,872	△493
その他の負債の増減額（△は減少）	448	△1,135
その他	△2,328	△1,074
小計	2,648	7,158
利息の受取額	119	234
配当金の受取額	1,330	1,326
利息の支払額	△138	△189
法人所得税の支払額又は還付額（△は支払）	133	△3,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,092	5,293
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	701	984
定期預金の預入による支出	△908	△931
有形固定資産等の取得による支出	△1,112	△1,279
有形固定資産等の売却による収入	33	10,527
無形資産の取得による支出	△837	△521
その他の金融資産の取得による支出	△77	△56
その他の金融資産の売却及び償還による収入	7,824	1,579
子会社の取得による支出	—	△7,352
子会社の売却による収入	—	858
その他	48	58
投資活動によるキャッシュ・フロー	5,672	3,867
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	668	3,089
長期借入れによる収入	—	3,909
長期借入金の返済による支出	—	△1,526
リース負債の返済による支出	△2,886	△2,747
自己株式の取得による支出	△3,483	△4,061
親会社の所有者への配当金の支払額	△2,321	△2,753
非支配持分への配当金の支払額	△99	△107
非支配持分への子会社持分売却による収入	78	—
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△8	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,051	△4,196
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,839	△943
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,552	4,021
現金及び現金同等物の期首残高	26,781	33,547
現金及び現金同等物の中間期末残高	30,333	37,568

（5）要約中間連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報）

（1）報告セグメントに関する情報

前中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	47,275	35,028	5,502	87,805	7,325	—	95,130
セグメント間の内部売上収益	332	6,971	93	7,396	2,546	△9,942	—
合計	47,607	41,999	5,595	95,201	9,871	△9,942	95,130
セグメント利益（△損失） (注) 2	1,303	△5,023	△37	△3,757	373	—	△3,384

当中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	45,006	34,549	5,165	84,720	5,447	—	90,167
セグメント間の内部売上収益	223	6,502	65	6,790	1,787	△8,577	—
合計	45,229	41,051	5,230	91,510	7,234	△8,577	90,167
セグメント利益（△損失） (注) 2	8,497	2,783	△44	11,236	315	—	11,551

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ルシアン事業等を含みます。

2. セグメント利益（△損失）の合計については、要約中間連結損益計算書の営業利益（△損失）と一致しております。なお、営業利益（△損失）から税引前中間利益（△損失）までの調整については、要約中間連結損益計算書に記載のとおりです。

3. セグメント間取引は、原価に利益を加算した金額で行われております。

（2）地域別に関する情報

外部顧客に対する売上収益

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
日本	59,562	55,040
アジア・オセアニア	10,976	10,194
欧米	24,592	24,933
合計	95,130	90,167

（注）1. 売上収益は連結会社の所在地を基礎とし分類したものであります。

2. 欧米のうち、米国における前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間の売上収益は、それぞれ17,267百万円及び17,029百万円であります。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。